

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6年 12月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201344		
法人名	株式会社Gトラスト		
事業所名	グループホーム令和の杜		
所在地	広島市西区井口鈴が台3丁目16-26 (電話) 082-942-1600		
自己評価作成日	令和6年12月1日	評価結果市町受理日	令和7年1月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490201344-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年12月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

職員数が多く、研修を重ねたベテランも多数おり、介護度の高い方々にも対応出来ます。施設は小さいが、狭いが故に手すりを持っての歩行や、職員の目が届く等と、転倒事故が少ないのも特徴です。又、広電の電停から、まっすぐ徒歩10分くらいで着くので、分かりやすく、ご家族の面会等も便利です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

協力病院と24時間体制で連携しており、その人らしく最期を迎えられるように職員は本人と家族からの意向を共有して看取りを実施している。最後まで食事食べてもらいたいとの思いから利用者の状態に合わせて食事の形態を変更して提供している。利用開始時には、利用者の馴染みのものや使い慣れたものを持ち込んでもらえるように本人や家族へ伝えている。季節が味わえるように職員が季節に合った飾りつけを利用者と一緒に作成している。整理、整頓、清掃、清潔、しつけを事業所内で意識しており、施設内は清潔に保たれている。

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	企業理念：使命感・責任感・帰属意識を毎日、朝の申し送り時に復唱し、実践につなげている。	企業理念の使命感、責任感、帰属意識を毎朝、唱和している。利用者の住み慣れた地域で自立に向けた介護を実践できるように職員間で話し合っている。看取りができるように本人、家族、医師、看護師と話し合いを行っている。	理念に基づいて介護の目標ならびにそのプロセスを言語化したうえで共有し、職員全員が同じ目標に向けて、同じ気持ちをもって利用者に接することができることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入り、町内の子供神輿を応援したり、民生委員さんの紹介で、ボランティアさんに来て頂き、「お楽しみ会」等を行っている。	町内の秋まつりでは、手作りの団扇を振って子供神輿を応援したり、登下校時の小学生と窓越しに手を振り合う等、子供たちを含む地域住民との交流を図っている。くす玉割、ハーモニカ、演奏会、フラワーアレンジメントなどボランティアの受け入れがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で、どのような状態か、どのような取り組みをしているかを、地域包括支援センターや知見を有する他職種の方や家族会の方にご報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回運営推進会議を開き、事業所の現状報告と、意見・要望を伺い、利用者様の生活が向上するように取り組んでいる。	2か月に1回実施している。利用者、家族会会長、民生委員、地域包括支援センターの職員、施設職員などが参加している。家族には議事録を郵送している。家族会会長より保育所との交流の提案があり、保育所に挨拶することから始めている。防災での備蓄品の提案や防災について話し合っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市介護保険課とは、先日管理者研修で、岡山への研修申し込みで推薦を頂くように何度か連絡を取らせて頂いた。西区の生活課と、生活保護の方の連絡を取らせて頂いている。	生活保護のことで西区と連携を取っている。管理者研修の受講について市に問い合わせ協力してもらっている。介護保険の更新や区分変更申請などでは、介護保険課と連携して実施している。	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束防止研修を繰り返している。不適切なケアを行わないように指針に基づき話し合っている。玄関の施錠は行っていないが、各フロアからの出入り場所は施錠を行っている。</p>	<p>玄関の施錠は実施していないが各ユニットの出入口は施錠してある。身体拘束委員会を設置して年2回の研修実施と3か月に1回委員会で話し合いをしている。利用者に待ってもらう場合は、待つ時間や待つ理由を伝えている。事例について職員間で話し合いをしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止の指針の確認や研修を行い、事例をもとに話し合いを行い、虐待をキャッチ出来る心を鍛え、防止に努めるようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者は学ぶ機会もあるが、一般職員は中々学べていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、管理者が説明し、理解を得て契約を行っている。変更があれば、都度書面で連絡の上、同意書を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者は生活の不満等の訴えが主で、管理者が対応している。家族等からも管理者に訴えがある場合は、職員と情報共有するが、運営に関する要望等は、運営推進会議で話をしている。</p>	<p>職員ミーティングで施設内の問題点の話し合いをしている。家族とは電話やメールでやり取りができる環境である。利用者や利用者家族の意見を反映したことや運営の情報は運営推進会議で報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は職員と面談を行い、意見や提案を聞いている。</p>	<p>人事考課面談の実施や必要に応じ職員との面談を行っている。面談では、職員間の相談や意見を聞いている。管理者が施設内の方針も話をしている。残業は無いようにしている。イベントでの飾りつけや利用者のために必要な物品は、家族会費を使用して購入している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が自己評価をしたものをもとに、面談を行い、上長評価を行い、本部に提出する。それを経営陣が判断し、臨時給与等に反映させている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者が直接現場管理者や職員を指導する事はないが、部長から、研修の機会を頂く事がある。管理者から職員に下すようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>代表者が機会を作ってくれているというより、勉強会などは、管理者が主体となって参加決定や、同業者の研修依頼をしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>アセスメントをしっかり取ることを心がけている。ご本人が中々言葉に出来ないケースが多いので、ご家族に伺っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	まず、お困りごとを伺うようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居の段階で、自宅では生活が難しい事が分かっているので、入居自体で、ご家族は満足いく形にはなっていると思う。後は、どのように過ごして頂くかを、話し合いたい。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	尊厳をもって関わっている。ご本人の得意な事をして、教えて頂くスタンスを取るようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	細かい事も話をするようにしている。私達の、嬉しかったこと、困っていること等を話、家族のような気持ちで関わって行きたい。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	グループホームに入所するとこれまでの馴染みの関係性はどうしても薄くなってしまふ。面会も家族が拒否される(認知症ということで、かもにされていた等)。そうでない場合関係の継続の支援をしている。	面会は、月2回15分程度で利用者の居室でできる。看取り期の利用者は、制限をせずに家族の要望があれば面会の機会を設けている。利用者と家族の外出もできるため、今年度は2名が外出して、1名がお正月に外泊している。	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	集団生活の為、どうしても「合う合わない」がある。一人ひとりに向き合い話を聞くことで、孤立することを防ぐ。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も家族と手紙のやり取りや、電話をかけて様子を伺っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	事前にアセスメントした、希望に添える様、暮らし方の検討を行っている。	アセスメントは、嗜好や趣味を必ず聞き取りしている。利用開始時は、馴染みのものや使い慣れたものを持ち込んでもらえるように利用者や家族へ伝えている。看取りなどで飲み込みが難しい利用者は食事形態を考えて提供して最後まで食事ができるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	出来るだけ、今までの暮らし方を行って頂けるように考え支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その方の状態の把握(バイタルや顔色、お話から)をしている。		

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>まず、課題の整理を行い、インフォーマルサービスも視野に入れながら、チームケアを行うような計画を心がけている。</p>	<p>介護計画は訪問看護事業所の看護師や薬局の薬剤師にも聞き取りを行い、計画担当者と介護支援専門員で話し合っ作成している。介護職員より利用者の状態などの情報を毎日少しずつ聞き取りしている。介護計画の内容は、利用者と家族へ説明している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>実施表の評価は職員に行って貰う。モニタリングで振り返り、見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>柔軟なサービスを心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの方、町内会長様、民生委員の方々に助けて頂き、楽しく暮らしていける様支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医は2回/週往診に来て頂く。又、家族の対応でホーム外の専門科に受診して頂く事も可能。</p>	<p>主治医による訪問診療が週2回ある。歯科の訪問診療もある。主治医の内科受診は、職員が付き添いをしている。主治医以外の受診は、家族の付き添いであるが利用者の状態を手紙に書いて渡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師は週1で訪問してくれており、日ごとの状況の変化を相談し、適切な支援を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には基本情報の提供や、入院中の相談員さんとの連携を取って早期の退院を目指している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	体調が悪くなってきた時点でご家族と今後について話をするようにしている。「看取り」を希望された場合、医師・看護師に伝え、家族と方向性を同じくして支援している。	協力病院と24時間体制で連携しており、その人らしく最期を迎えられるように職員は本人と家族からの意向を共有して看取りを実施している。今年度は3名の看取りがあった。家族とは面会のたびに状態を報告して、意向の確認をしている。職員間で情報を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を行っているが、地域との協力体制は、一緒に訓練を行った事はないが、運営推進会議等で、話はしている。	備蓄品は、米と食料がある。年2回消防訓練を実施して、夜間想定1回と日中想定1回で利用者も訓練に参加している。2階から1階への避難も実施している。訓練後は職員間で振り返りをしている。BCP（業務継続計画）を作成し、今後シミュレーションを繰り返す中でさらにレベルアップを目指している。	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	虐待防止の研修も行っており、特に言葉かけについては、反省等も多く出る。その都度全員で話し合っている。	排泄時は、トイレの外で待つようになっている。居室に入るときは、ドアをノックしている。職員から「お手伝いさせてくださいという声掛けをいただいている。利用者にテーブル拭きなどの役割をもってもらえることがある。利用者間のトラブルがあれば席の変更をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	傾聴し、思いを理解するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	グループホームなので、週間の予定や、日中の予定がほぼ決まっているが、その中にもご本人が行いたい事が出来るだけ行えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自己決定を促すようにしているが、ご本人が中々決定出来ない時は、選ぶ事が出来る様提案している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嫌いなものの対応も行っているが、食事の準備は、職員が行う。利用者様には、テーブル拭き、トレーを拭いて片づけ等を行って頂いている。	食事は外部業者へ発注している。アレルギーや嫌いなものは確認して提供している。外部業者から敬老会やお正月には祝い膳やおせちのような食事がある。誕生日などの個別でのイベント食は実施しておらず施設内での調理は実施していない。居室では家族が持ち込んだ食事などを食べることができる。	外部業者からの献立だけではなく、利用者が食べたいと思う食事が日常生活でできて、季節を感じられる食事、おやつ作りなどが提供されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養状態は2.3か月に1度の血液検査で確認し、毎日の食事摂取量や水分補給量は記録している。食事は専門業者が作っているため、栄養バランスは良い。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一日4回口腔ケアを行っているが、認知症が進み、「歯磨き」「うがい」が理解出来ない方もいる。希望者には、訪問のデンタルクリニックがある。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>都度職員で日勤帯、夜間帯の排泄状況を話し合い、不必要なおむつの使用を減らし、トイレでの排泄を促している。</p>	<p>排泄は、トイレでできるように介助をしている。退院後の利用者も立位ができればトイレでの排泄を介助している。布パンツを使用している利用者がある。排泄チェック表を使用してトイレ誘導をしている。車椅子が使用できるトイレを併せて1ユニットに3か所トイレがある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の解消にお腹のマッサージ、体操の他、水分補給、食事の形態などを相談し、対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>グループホームなので、どうしても曜日の固定はされてしまうが、その中で、ご本人の希望の時間や、湯温等を考慮して、入浴支援をしている。</p>	<p>週2回入浴をしている。入浴を断られた場合は、曜日や時間を変えて入浴している。入浴剤を使用している。車椅子を使用している利用者はリフトで浴槽へ入浴している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	食後にゆっくりする時間を提案したり、夜間は静かに落ち着いて過ごされる様に、環境整備をして、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局が持参する、薬情を全員が閲覧できる状況であり、変更があった場合薬剤師から、説明してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居前に、趣味等を伺い、継続して行って頂けるように支援している。また、それが他者にも良いようであれば、皆で楽しめる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の本人の希望で出かけることはしていない。家族から、帰宅願望をなだめる事の支援をお願いされたりしている。行事として、外出をすることはある。その他、家族支援で外出されたりしている。	気候が良ければ施設の前に出て外の空気を吸って日光浴をしている。春には、花見に外出している。認知症の症状により外を歩きたい利用者には職員が付き添って外を散歩している。個別の散歩などは企画書を作成して実施している。	日常生活の中で利用者が近隣の公園への散歩、近隣の店舗などへ気軽に外出できることを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当ホームは、売店が無く、買い物支援は家族が行っている。また、現金を持つことのトラブルも懸念されることから、現金は持ち込まないようにさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>手紙は無いが、電話をして欲しいと言う希望はよくあり、家族に電話を取り次いだりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>狭い作りになっているが、落ち着いて過ごせるように、工夫している。季節ごとの飾りを一緒に制作し飾ったりしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを利用者と職員が一緒に作成している。温度調整にも気を配っている。整理、整頓、清掃、清潔、躰を事業所内で意識しており、施設内は清潔に保たれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>主に食事テーブルが会話の場だが、ソファで、ゆっくり過ごす事もあり。徘徊をされる方は、窓際に椅子を配置し、一人で外を眺めて頂き落ち着く時間を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>最近はそのように、考えて持参する方が増えている。「とりあえずの住処」から「終の棲家」に変化して来ていると実感している。そのような考えを支援している。</p>	<p>利用開始時には、利用者の馴染みのものや使い慣れたものを持ち込んでもらえるように本人や家族へ伝えている。仏壇を持ち込んでいる利用者もいる。ベッド以外のダンスや衣装ケースは利用者が持ち込んでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>職員は一人ひとりの「今」に寄り添うようにしている。安全第一に環境整備を行い、ご本人の出来る事を継続支援している。</p>		

V アウトカム項目(A) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	使命感・責任感・帰属意識の企業理念を毎朝の朝礼で唱和し全員で共有し、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	運営推進会議で地域の方との意見交換やアイデアを取り入れている。夏祭り等に参加。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方へは、運営推進会議で町内会長、民生委員さんに、「認知症」とは、という話をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回行い、意見交換やアイデアを出して頂いている。テレビ体操のスタンブ等。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	主にホーム長が連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に委員会、研修会を行い職員全員で取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に委員会、研修会を行い職員全員で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について、研修を行っている。成年後見人についての理解はまだ薄いので、研修の必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ホーム長が行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に家族会や利用者の代表に参加して頂き意見、要望等発言して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	定期的にミーティングを行い。職員の意見、提案等話し合いを行っている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	ホーム長が代表者と連携を取っている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	ホーム長が代表者と連携を取っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	ホーム長が代表者と連携を取っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	初期段階では特に気を使い、他利用者との関りを含め、安心して生活出来る様努めている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>信頼して安心して頂けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の話聞き他職種との連携を取りながら、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の意向を聞き出来る限りの支援をしている。出来る事と出来ない事の見極めを一緒に考える。</p>		
19		<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会に来られた時にご家族から聞かれた事に関しては最小限の対応に留めている。ほぼホーム長が対応している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友達との縁が切れないように支援をしたが、認知症で自宅で暮らしていた時にトラブルに巻き込まれたりしていたこともあり、家族から、ストップがかかる事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席替えをしたり、レクの時などはランダムに座って頂き、交流して頂いている。職員も共にレク参加し、利用者同士がコミュニケーションを取れる支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホーム長が主に対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	雑談を通じその人の思い、希望等を引き出しなるべく近づける様努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人ファイルを共有し、これまでの暮らしを把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員全員で状況を共有し、現状を把握している。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ホーム長が主に対応している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個人ファイル、日報等記録し、細かい変化も職員同士共有し、ミーティングで話合っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	家族対応が出来る事は、積極的に関わって頂くようお願いし、近隣の方に訪問して頂き、交流をお願いしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	グループホームの中で、地域資源がしっかり使えているかは、難しい。地域の祭り等は積極的に参加させて頂いている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	受診は、家族対応が多い。かかりつけ医に往診をして頂いている。協力医連携加算をとり、夜間でも対応して頂ける状況を作っている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	提携している訪問看護ステーションには常に相談する体制をとっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供や、病院内での情報の共有を行っており、定期的に訪問している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ホーム長が行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に避難訓練は行っているが、地域との協力体制は中々取れていないが、民生委員、町内会長には、災害時について話をしている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人の考え方が違うので、言葉かけなど注意している。ケースごとのミーティングを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定出来るように、声掛けを行っている。自信で中々決めれない時は、2者択一等の提案を行い、自己決定を促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけ、意思を尊重し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合わせた装いが出来るように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	苦手なものの調整などは行っているが、食事の提供は決まったものを職員が準備し提供している。利用者様には、テーブル拭き等環境整備やコップの片づけ等をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>全てを記録して，過不足や体調の確認を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎日，4回の歯磨きを奨励している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを読み，おむつ，パットの適合性を検討している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄（排便）の記録をとり，体操，水分調整等工夫し，出ない場合，便秘の状況を主治医に連絡し服薬調整を行う。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の入浴なので，どうしても同じような曜日になってしまうが，出来るだけご本人の好きな湯温や順番になるように考えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	医師、薬局と連携し、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	医師、薬局と連携し、支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	毎月、何らかの行事を組み込み 喜び、活力のある生活になるよ うに支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	病院受診を家族の方に支援して 頂いたり、散歩をして外を歩い たり、外気浴で外の空気を感 じたりという支援をしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金の管理は行っておらず、買 い物の支援も行っていない。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話をかけて欲しい。という時は職員がかけ、ご本人に話して頂いたり、手紙は自由に送って頂いている。こちらからのお手紙は難しい。絵手紙に挑戦したい。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	いつも清潔を心がけて、音・温度等に気を付けて、支援している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルの他ソファがあり、好きな場所で過ごされている。利用者様同士で、ゆっくり話をされる姿も見かける。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の契約時に、「好きなものを持って来て下さい」と説明しており、居室も楽しい場になっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物自体が狭い為、手すりなどを使って、安全に過ごされている。		

V アウトカム項目(B) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム令和の杜

作成日 令和7年1月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践。	目指す介護像を明確にして、全員で取り組む。	どのような介護をした いか、すればよいかを 話し合い、全員でベク トルを合わせる。	6か月
2	40	おやつの変化が欲しい。	月に1度でも手作りの おやつを提供する。	行事の日に合わせおや つを手作りし、合わせ て飲み物も変化あるも のを提供する。	1か月
3	49	外出の機会が少ない。	気候を考えてお出かけ 支援を行う。	特別なお出かけも良い が、近くに散歩した り、施設の周りで外気 浴を行ったりを支援す る。	6か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。